

第48回日本重症心身障害学会学術集会 参加報告

リハビリテーション科 吉村卓也



10月26日～27日の2日間に渡り、第48回日本重症心身障害学会学術集会が開催されました。今回は千葉県千葉リハビリテーションセンター愛育園 園長・石井 光子会長のもと、千葉県の幕張メッセ国際会議場にて行われました。大会テーマは「重症心身障害医療と福祉に新しい風を！-地域共生社会の実現に向けて-」でした。開催形式は一部オンデマンド配信がありましたが、基本は現地開催のみの形式となりました。今回のような現地開催の学会へ参加することが私自身数年振りで、しかも重症児者に関する学会は初めての参加となりましたので、とても新鮮な気持ちで会場に向かいました。会場内は多くの参加者の方々と賑わっていました。

私は1日目に口述発表者として参加しました。発表演題は「体圧計を用いた腹臥位姿勢保持具の評価・修正の取り組み」として、入所利用者様の姿勢評価について報告しましたが、フロアの方や座長からご指導やご意見をいただき、大変勉強になりました。今回の経験を参考にして、今後も発表していきたいと思えます。この度発表に際して、様々ご指導やアドバイスをいただきました伊藤副院長、小児科橋本先生並びにリハビリテーション科スタッフの皆様大変感謝申し上げます。ありがとうございました。

それ以外の時間は他の口述発表を聴講したり、ポスター掲示を拝見したりと他施設の取り組みを知ることができました。その中でも、ストレス反応を客観的に計測できるウェアラブルデバイスを用いた症例報告や、体組成計を用いて筋肉量を計測する取り組み等が個人的に興味深い内容として印象に残りました。短い時間ではありましたが、非常に濃い内容の1日を過ごすことができました。療育の現場は、様々な職種の方々関わっているということを改めて感じる良い経験となりました。

令和5年度東京都永年勤続感謝ほか伝達式

11月20日（月）に永年勤続等伝達式を行いました。

東京都永年勤続感謝は、勤続年数25年以上の東京都職員を対象とし、10名の方に感謝状が贈呈されました。



公益社団法人日本重症心身障害福祉協会表彰は、重症心身障害児者施設での勤続年数10年以上の方を対象とし、9名の方に表彰状及び記念品が贈呈されました。

澁谷院長から、重責の中、勤務を継続し当院を支えていることへの感謝の気持ち、今後も勤務するにあたり身体を大事にしてほしい旨のお話をいただきました。

〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushi.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第552号 発行日 令和5年12月31日

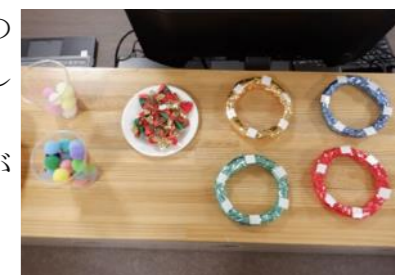
クリスマス特集

3B病棟 中島千絵



12月15日（金）3B病棟でクリスマス会を行いました。今年は、飾り付けた病棟廊下を巡りながらクリスマスリースと雪だるまを各々が作り、ダイルームに飾ってクリスマスの雰囲気を楽しんでもらう内容にしました。病棟廊下天井と壁面には白と銀を基調に飾り付けをしてオルゴールのクリスマスソングが流れる中、雪だるまを作ってもらいました。反対側の廊下天井と壁面は赤と緑で装飾し、クリスマスリースを作ってもらいました。瞬きや口の動き視線等で各パーツの中から好きなものを選び、リースも雪だるまも個性豊かな作品が出来上がりました。廊下天井の装飾に視線を向け笑顔で巡る人もいました。

短い時間でしたが、職員とコミュニケーションを取りながら、好みの作品を作り飾ることができました。



通所担当

12月21日、久しぶりにご家族にも参加していただき、少し早めの「クリスマス会」を開催しました。今回は、府中市近隣で活躍されているイングリッシュハンドベル演奏「ノイ」の皆様クリスマス会を盛り上げてもらいました。やはりクリスマスの厳かなムードには、ハンドベルの響きがとてもよく似合っていました。ハンドベルの演奏は振るだけでなく、叩いたり弾いたり、いろいろな音の出し方があることに驚かされました。短い時間でしたが、素敵な演奏に会場みな癒されました。

午後からのクリスマス会2部では、恒例のサンタとトナカイが登場。お楽しみプレゼントをもらったり、一人ずつ記念写真を撮ったりと、賑やかな雰囲気です。少し早めのクリスマス会は終了しました。利用者の皆様のところには25日にもサンタはやって来たことでしょう。





クリスマス特集



2D病棟 福祉職

12月20日(水)に2D病棟でクリスマス会を開催しました。三枝ゆにさんを招待し、ピアノコンサートを行いました。

クリスマスメドレーでは、「あわてんぼうのサンタクロース」や「ジングルベル」などのリズムカルな曲に合わせて、鈴やタンブリンでリズムをとり音楽を楽しみました。



冬の歌では、「ゆき」や「北風小僧のかんたろう」などが披露されました。また、「手のひらを太陽に」や「となりのトトロ」など聴きなじみのある曲には、一緒に歌ったり笑顔で楽しんだりする利用者の様子が見られ、久しぶりの生の演奏を楽しむことができました。



12月13日(水)2C病棟ではクリスマス会を楽しみました。

2C病棟 島田久雄

ダイルムではソーシャルディスタンスをとりながら、職員の楽器演奏を利用者の方々が楽しむ表情がみられました。「戦場のメリークリスマス」という曲をピアノの伴奏とともにギターを演奏すると、普段の活動でも聞きなれているせいか、それでもいつもとはちがう雰囲気を感じたのか目を大きくして聞いていた利用者の方もいらっしやいました。そのあとのクリスマスメドレーも、職員と楽しそうにタンブリンなどでリズムをとっていました。ハンドベル演奏は「たきび」「ゆき」「笑点」の曲と一緒に演奏しました。特に「笑点」は楽しかったようで、うとうとしていた利用者の方にもここに笑顔が見られました。



そして、最後にピンクのくまさんのかぶりものをした職員が「白い恋人たち」「サンタが町にやってきた」を利用者の方のそばで歌うと、大喜びの笑顔とびっくりした表情が見られました。楽しい時間は過ぎるのが早く、あっという間の12月のお楽しみ会でしたが、利用者のたくさんの笑顔で、穏やかな楽しいひとときを過ごせたと思います。



1B病棟 福祉職

1B病棟では、12月22日(金)にクリスマス会をしました。2グループに分かれて的当てゲームをしました。ボールを落として的の中心にボールが止まった方が勝ちとなります。それぞれボールの持ちやすい姿勢や落としやすい体勢など工夫しながら、1対1の対戦でツリーの飾りをかけて勝敗を決めました。ボールは思いもよらぬ方向に転がってしまい、それを笑っていたらもっとおかしな方向に転がってしまう利用者もいて、大盛り上がりで全員参加しました。



その後、職員によるマジックショーを行い、色のない絵本に魔法をかけてカラー絵本にしたり、空っぽの紙袋から飾りの入ったバックを取り出して見せると、キョトンとした表情で不思議そうにしている人や、わからない事が楽しくて笑っている人など反応は様々でした。全員が集まっての行事は久しぶりということもあり、最後は「赤鼻のトナカイ」をみんなで歌って、楽しいクリスマス会になりました。

12月21日(木)にアンサンブルバウムの方々に来ていただき弦楽器の四重奏のクリスマスコンサートを開催しました。今年最後の行事ということで看護師長の挨拶から始まりました。また12月生まれの方には「ハッピーバースデー」の生演奏でお祝いいただき、利用者からは笑顔が見られていました。

3C病棟 高橋奈実



そして演奏会が始まると、声を出して一緒に歌ってみたい、自分で腕を動かし手拍子したりする様子が見られました。最後アンコールでは、利用者が鈴やマラカスを持って一緒に「赤鼻のトナカイ」を演奏し、楽しむことができました。途中外出していた利用者も最後には間に合い、全員で素敵なクリスマス会を過ごすことができました。



12月22日(金)、通園内ホールにて冬のお楽しみ会を開催しました。プログラム1番は年長児さんの「オープニング」。「サンタが町にやってくる」の曲に合わせて、ろうそくや鈴を持ち笑顔で元気に登場です。さくら組の出し物は「翔んでさくら♡」、たくさんの仲間たちと一緒に、あおむしさんが成長して素敵な蝶々になるまでの姿を演じてくれました。ゆり組の「うんとこしょ、どっこいしょ」では、立派な野菜を収穫し、みんなでカレーを作りました。とっても美味しそうな特大カレーの出来上がり!

通園担当



職員も軽やかに踊り、サンタさんも登場!1年間とっても良い子にしていたみんなに素敵なプレゼントを持ってきてくれました♪ みんなの素敵な出し物から職員の出し物まで、親子でとっても楽しいお楽しみ会になりました。

